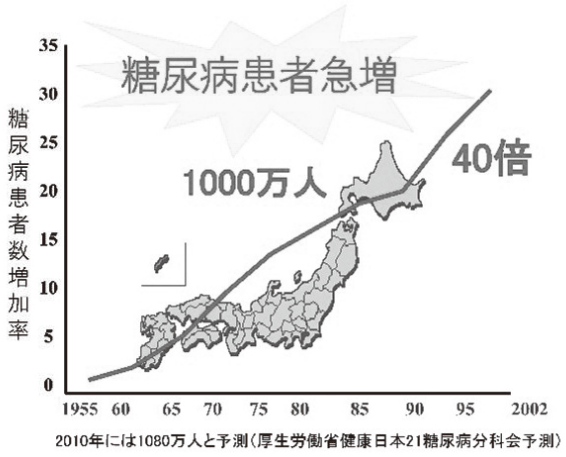
しもつけクイズ【正解は②】詳しくは34ページをご覧ください。

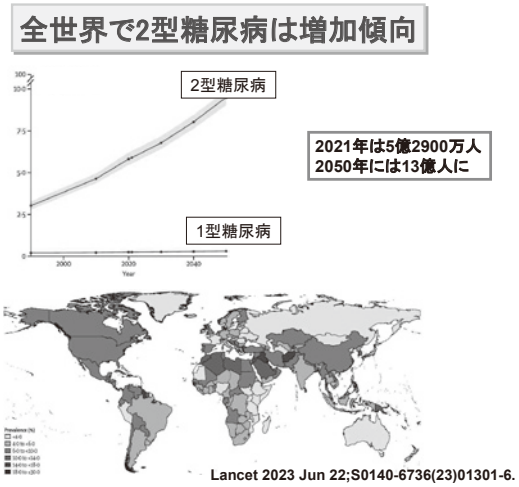
自治医科大学「世界糖尿病デー健康フェスタ2025」を開催します！

11月14日は、「世界糖尿病デー」です。糖尿病の疾患啓発の日としてWHOが制定し、カナダの科学者フレデリック・バンティング博士(1921年にインスリンを発見し、1923年にノーベル医学賞を受賞)の誕生日にちなみ、定められています。また、11月は「糖尿病予防・重症化予防強化月間」とされています。

糖尿病は戦後一貫して増え続け、現在は全国約1,000万人にも及んでいます。また、この傾向は日本だけでなく全世界で見られるものであり、現在約5億3,000万人が糖尿病に罹患しており、さらに2050年には13億人にまで増加すると予測されています(下図参照)。



2010年には1080万人と予測(厚生労働省健康日本21糖尿病分科会予測)



Lancet 2023 Jun 22;S0140-6736(23)01301-6.

糖尿病の発症予防や重症化抑止には食事と運動が重要ですが、たとえば糖尿病食は、実は糖尿病をお持ちの方々だけのものではなく、すべての人にとってヘルシー・フードであるとも言えます。運動についても同様で、すなわち、糖尿病について知ることはすべての人の健康維持に有益です。

そこで、自治医科大学では、糖尿病や生活習慣病全般について「食」と「運動」の観点から最新の情報を発信するとともに、さまざまな検査や測定を実際に体験していただける体験型イベントとして、「世界糖尿病デー健康フェスタ2025」を開催します。

世界糖尿病デー健康フェスタ2025

今年の健康フェスタ2025は、2024年に開催された内容に加え、以下の体験などが新たに追加される予定です。

測定・計測体験

- 慢性腎臓病(CKD)の早期発見に役立つ血中クレアチニン値の測定(ノバ・バイオメディカル社提供)
- 唾液から口腔内の健康度を測定する装置(SillHa:アークレイ社提供)
- バランス能力測定(Statera社提供)

製品紹介

健康に良い食品関連(高タンパク質食品、低糖質食品、ω3多価不飽和脂肪酸(EPA/DHA)、ビタミンサプリメントなど)のコーナーを、今回から大幅に拡充してご用意する予定です。

各コーナーを回っていただき、ぜひヘルスケアの最前線を楽しみながらご体験いただけると幸いです。申し込みは不要です。当院スタッフ一同、皆さまのご来場をお待ちしております。

■**日時**　11月12日㈬　午前10時～午後3時

■**場所**

自治医科大学　地域医療情報研修センター

■**参加費**　無料

■**問い合わせ先**

自治医科大学

世界糖尿病デー健康フェスタ実行委員会

☎(58)7355

東の飛鳥 Higashi no Asuka